

旧同潤会江古田分譲住宅 佐々木邸保存会

東京初の庭つきマイホームとして1934年に建設された同潤会江古田分譲住宅の創建時の姿をとどめる佐々木邸は、国の登録有形文化財です。モダンな洋間、明るい広縁、中廊下を囲む茶の間・台所・五右衛門風呂・女中室など、昭和初期の中産階級向け住宅の典型的な間取りです。2011年に親族・専門家・地域住民を中心に保存会が発足し、見学会・伝統行事・広報活動を行なうなど、460名を超えるメンバーが保存維持につとめています。



地元の子供たちを集めた納涼会(2015年)



見学のあとの講演会(2016年)



『百年名家』の予告画面(2021年)

特別コーナー 「団体おすすめの1冊」

「受け継がれる住まい：住居の保存と再生法」
(出版：柏書房)

★団体おすすめポイント★

「明治から昭和戦前期までの歴史あふれる家を次世代に継承する多様な試みが紹介され、文化遺産として蘇る伝統的住まいが地域コミュニティの独特の風景や魅力を作っていることがわかり、佐々木邸の事例も取り上げられています。」

連絡先：03-3955-0469